

登山計画書 WEB提出

三重県警察ホームページから県内の山を対象にした登山計画書(届)が提出できるようになりました。パソコンやスマートフォンで手軽に提出できるので、ご利用ください。



三重県警察 HP
登山計画書入力フォーム

問い合わせ
四日市西警察署 ☎ 394-0110

SNS被害に遭わないために



CASE 1 彼氏から変なお願いがきて断り切れずに写真を送ってしまった。彼氏がその写真を学校の男子たちに転送し、さらにインターネット上で拡散されてしまった。

彼氏や彼女などが相手でも、絶対に裸などの画像を送ってはいけません。一度、インターネット上に流出した画像は回収、削除することはできません。



CASE 2 SNSに「家出したい」と書き込むと、優しいお兄さんが返事をくれた。会いに行ったら遠い場所まで車で連れていかれ、そのまま閉じ込められた。

犯罪者は優しい言葉をかけ、良い人のふりをして近づき、子どもを外に誘い出します。「二人で遊ぼう」「泊めてあげる」といった誘いには注意しましょう。



保護者が管理
フィルタリング
Don't forget filtering

被害児童の約9割がフィルタリングを利用していなかったというデータもあります。保護者は年齢や利用状況に応じたフィルタリングの設定をお願いします。

7月 修学旅行が延期となったため開催

7月 SDGs ポスターセッション



▲体育館で作成したポスターをもとにグループごとに発表を行う生徒たち

SDGs(持続可能な開発目標)を学習に取り入れ、実践する力を身につけるために八風中学校でポスターセッションが行われました。「好きから始まるSDGs」と題してグループごとにポスターを作成し、「スポーツ用品を環境に負荷がかからない素材にする企業の取り組み」や「年齢・性別・国籍・障がいに関係なくプレーできる野球大会の開催」など自身が関心のあることからテーマをまとめ、生徒たちは発表を行っていました。

6月~ 子どもたちが孤野町のこれからのを考える

7月 総合計画に関する授業を実施



▲第6次孤野町総合計画の概要版を教材にして行われた授業の様子

第6次孤野町総合計画が策定されたことを受け、町内の小中学校で孤野町総合計画に関する授業が実施されました。授業では、「孤野町のまちづくりについて考えよう」をテーマに今後、町内の人口が減っていく中で自分たちができそうなことや大人になったらできることを考え、まちの将来について話し合いました。授業では「ごみを減らし再資源化するためにごみの分別をする」「大人になったらSNSなどで孤野町の魅力を発信していきたい」といった活発な意見が子どもたちからあがっていました。

6月 清掃奉仕活動に代わって寄贈

26日 消毒用品や車いすを寄贈



▲目録と車いすを受け取った町長

東 芝三重連合会、キオクシア労働組合四日市支部からみずほ寮に除菌用アルコール、タオル、車いすが寄贈されました。新型コロナウイルス感染症の影響により同団体が例年行っているみずほ寮周辺の清掃奉仕活動が実施できなかった代わりとして今回の寄贈をいただきました。

7月 教育委員として永年お世話になりました

7日 教育委員 小崎さんに表彰



▲町長から表彰状を受け取った小崎さん(写真左)

教育委員を務めた小崎玉千香さんが全国市町村教育委員会連合会から表彰されました。小崎さんは、「8年間という期間でしたが、周りの先生たちの支えもあって務められました」と感謝の思いを伝えました。

7月 水の事故ゼロを目指して

8・12・13日 水辺の安全教室を開催



水 辺での事故を起こさないための知識や技能を身に付けることを目的とした水辺の安全教室を孤野小学校と竹永小学校で開催しました。参加した児童は、真剣にロープワークやライフジャケットの使い方を学んでいました。

町長のひとり語り

The Story of our Mayor



三重県がまん延防止等重点措置の対象から外れましたが、予断は許しませんので、皆さんには引き続き感染症対策にご協力をお願いいたします。

さて、私は、一日のほぼ全てを孤野町の庁舎で執務をしています。「移動町長室」や「柴田町長と語ろう」などの機会があります。が、もっと気軽に町の皆さんとお話することができないかと思ひ、登庁前の1時間程度、駅や交差点などが集まりやすい場所に伺っております。

そこで改めて感じたのが、横断歩道の側に歩行者がいても、車両が一旦停止をしないということ。特に通学のため子どもたちが集団で横断歩道の側にも、停車をしてくれない車がたくさんいます。横断歩道は歩行者優先が

Theme 29 朝の通学風景を見て

ルールです。歩行者がいるのに停車しないことは交通違反であり、反則金支払いの対象になります。

横断歩道の前のダイヤマークを通過するときは、いつでも停車できる準備をする。また、横断歩道を通過するときは、信号がなくても信号のある交差点と同じ感覚で確認する。運転時に焦らないで車間距離を空ける。のんびり走行をすることは燃費にもよいかもしれませんし、そんな運転が理想に感じます。

一方、歩行者も横断歩道を優先的にわたる権利があるので、自分がいることを車の運転者にアピールすることが自身を守ることにもつながります。ぜひ、手を挙げて、横断をしたいということや堂々とアピールしてもよいのではないのでしょうか。